

NEWS RELEASE

2025年10月9日

車両とホームの隙間をなくし、乗客の安心・安全を広げる 住友理工の駅ホーム用転落防止ゴム ~10月14日 鉄道の日に寄せて~

住友理工株式会社(本社:名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長:清水和志)は、1960年代半ばより鉄道車両用防振事業に参入しています。今回は鉄道の日に合わせ、もう一つの鉄道向け主力製品、駅ホーム用転落防止ゴムをご紹介します。



駅ホーム用転落防止ゴム



夢洲駅に設置された駅ホーム用転落防止ゴム (ホームと車両間の黒色個所 Osaka Metro 提供)

駅ホーム用の転落防止ゴムは、ホームと車両の間に設置され、乗客の車両への乗り降りの際、車両とホームの隙間への転落防止のために設置されます。歩行者はもちろん、ベビーカー・車椅子、そして電動車椅子が通った際にかかる負荷に対応する高い耐久性を備え、車両への乗降車の際に違和感のない感触で支持をします。また側面のゴムは柔らかい輪状構造で、万が一、本製品と車両が接触した場合でも、車両からの衝撃を吸収し、車両や乗客への影響を軽減する役割を果たします。

本製品は、「東京メトロ安全報告書 2025^{**}」に紹介されており、2025 年 8 月末時点で、東京メトロ 180 駅のうち 156 駅に設置されています。また 10 月 13 日まで開催されている大阪・関西万博の最寄り駅、Osaka Metro 中央線夢洲駅のホームにも設置され、多くの万博来場者の安全性確保に貢献しています。

さらに、国土交通省のバリアフリー法に基づく基本方針では、2030 年度末までに、車両との段差や隙間を小さくしたホームを全国 4,000 ヶ所に拡充する方針が掲げられています。これは車椅子利用者が単独で乗降が可能な状態を考慮した施策で、23 年度末時点の約2,000 ヶ所からの倍増を目指しています。当社製品は各ホームの隙間に応じた隙間寸法への調整が可能で、既存のホームへの迅速な設置を実現します。これにより、工期の短縮が期待でき、多くの利用者の安全な移動をサポートいたします。

当社グループは、経営 Vision「2029 年 住友理工グループ Vision」にて、2029 年のありたい姿を「理工のチカラを起点に、社会課題の解決に向けてソリューションを提供し続ける、リーディングカンパニー」と設定しています。誰もが安全・快適な生活を送ることができる社会の実現を目指し、社会課題の解決に貢献してまいります。

※安全報告書 | 安心への取組み | 東京メトロ (P12 に本製品の記載あり)

■プレスリリース

住友理工の鉄道車両用防振ゴムが JR 東海「315 系」に採用 https://www.sumitomoriko.co.jp/news/2022/pdf/n51910635.pdf

鉄道車両用防振ゴムが JR 東海 NEW 特急ひだ「HC85 系」に採用 https://www.sumitomoriko.co.jp/news/2022/pdf/n51910650.pdf

住友理工の「駅ホーム用転落防止ゴム」が大阪・関西万博の「夢洲」駅に採用 https://www.sumitomoriko.co.jp/news/2023/hqcopu0000000asx-att/n51910703.pdf

<製品に関するお問い合わせ>

住友理工株式会社 化工品事業部 〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目 1 番地 industry_inquiry@jp.sumitomoriko.com

受付時間:9:00~17:00 (土・日・GW・夏期休暇・年末年始を除く)

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車(モビリティ)分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制遮音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、"Global Excellent Manufacturing Company"を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先

住友理工株式会社

広報IR部/〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com https://www.sumitomoriko.co.jp/